

経 済 民 生 常 任 委 員 会 記 録

令和元年 10 月 23 日(水)午前9時 58 分～午前 10 時4分(9階 903 会議室)

○出席委員(8名)

委 員 長	二階堂武文
副委員長	佐々木 優
委 員	高木 直人
委 員	川又 康彦
委 員	石山 波恵
委 員	阿部 亨
委 員	小松 良行
委 員	山岸 清

○欠席委員(なし)

○市長等部局出席者(なし)

○議 題

「古関裕而氏を活かしたにぎわいの創出に関する調査」

- (1) 参考人招致について
- (2) その他

午前 9 時58分 開 議

(二階堂武文委員長) ただいまから経済民生常任委員会を開会いたします。

議題は、お手元に配付の印刷物のとおりです。

古関裕而氏を活かしたにぎわいの創出に関する調査についてを議題といたします。

まず初めに、参考人招致ということで、前回の委員会でも協議いただきましたが、11月中に参考人招致を実施したいと考えておりまして、11月の11、22、25日の3日間を皆さんに押さえていただいております。

お手元の資料の参考人招致実施要領案をごらんください。こちらの資料に基づき、日程等々をご説明していきたいと思います。1、日時ですが、参考人との調整の結果、11月22日金曜日午後1時30分より開催できればと思います。それに伴い、11日と25日は実施いたしませんので、この2日間の予定

はキャンセルしていただければと思います。よろしくお願いします。

次に、2の会場ですが、市役所9階の908会議室で開催の予定です。

次に、目的ですが、古関裕而氏を活かしたにぎわいの創出に関する調査に資するためとしております。

次に、依頼先及び参考人より聴取する意見の内容ですが、出席依頼者は古関裕而研究家の齋藤秀隆氏。内容は、古関氏の功績や歩みのほか、記載の全部で4点になります。狙いとしては、梓の下のみ印に記載のとおり、今回の調査のテーマの根幹である古関裕而氏について、功績や歩み、本市でのエピソード等を聴取し、古関氏や氏の楽曲がこれまで多くの人々を魅了してきた理由を再確認するとともに、古関氏を長年研究してきた齋藤氏のこれまでの活動やかかわってきたさまざまな取り組みなどから、古関氏のレガシーを発信し続ける市民活動の大切さや市民の古関裕而氏の認知度や関心度を高めるきっかけとするとしております。

次に、当日の進め方ですが、参考人招致終了後の意見開陳も含めて2時間半程度、全て終了するのが午後4時ころと予定しております。

残りの6から10までについては参考人招致にあたっての注意事項等ですので、後ほど各自お読み取りいただければと思います。

また、別紙資料としまして、参考人である齋藤秀隆氏の簡単なプロフィールも添付しておりますので、こちらのほうも後ほどお読み取りいただければと思います。

なお、以降の参考人招致についてですが、前回委員より音楽のまちづくりについての話という意見もありましたので、本市の音楽文化総合アドバイザーである三浦尚之氏より来年1月中にその内容で意見が聴取できないか、担当部局を通して確認中でございます。結果がわかり次第お知らせしたいと思います。調整が難しければ行政視察後の日程になる可能性もありますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

11月22日の参考人招致につきましては、今ほど実施要領案でご説明したとおり進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(二階堂武文委員長) それでは、そのように進めさせていただきます。

協議事項は以上となりますが、ほかに皆様からご意見ございますでしょうか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(二階堂武文委員長) なければ、以上で経済民生常任委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

午前10時04分 散 会

経済民生常任委員長 二階堂 武文